

# 足利よみうりタイムス

## 足利よみうりタイムス

### 夏休み子供職業体験 なりきり歯医者さん「デンタニア」

夏休みに小学生の歯医者さんなりきり体験が5日、葉鹿の「2丁目石井歯科医院」で開かれ、歯科医院を使つての職業体験が行われた。

参加したのは地元小学生9名。メキシコや日本などで展開している子供向けの職業体験型「デンタニア」に掛けて名付けられた「デンタニア」は、「子供達に歯医者体験してもらいたい」と企画、初の試み。しかし「デンタニア」の参加募集をしたところ大人気多くの希望者ですぐに満員となる。参加した子供歯医者さん達は、

最初に石井和浩院長より「歯医者さんは歯科医師だけでなく歯科衛生士、歯科技工士などさまざまな職種の人たちで成り立っています」と講義を受け、歯について、虫歯になる仕組みについての話しを聞く。

講義のあと実際に試験（国家試験）があり先生達の講義を思い出しながら問題を解いていく。



一部問題を紹介すると、  
Q 虫歯をつくるばい菌の名前は？  
(A ミュータント)

○子供の歯は何本ある？  
(A 20本)

うくん、私も講義を聞かないとわからないかも。ためになります(笑)。

試験の後はいよいよ実習へ。先生役、衛生

士役、患者役の3人3班にわかれ、ユニットを使い歯を削るタービンを使つての疑似体験。衛生士と歯科専門学校の子生とでサポートを受けながらではあるが、白衣もマスクもしてさながら、ちびっこドクターは真剣そのもの。歯形に石膏を流して自分の歯をつくり、虫歯に詰め物をして治療完了!!

働いた分の給料「デンタニア紙幣「セント」をもらい、歯ブラシや歯磨き粉を購入。なりきり歯医者さんの資格を見事ゲットした。

参加した葉鹿小学校5年・荒山そう君(11)は、B班のリーダーを務め「歯医者さんになり楽しかった」と誇らしげ。職業体験の場を提供した石井院長は「子供達が職業につくときの一助になれば」と大成功の企画を満げに語った。

